

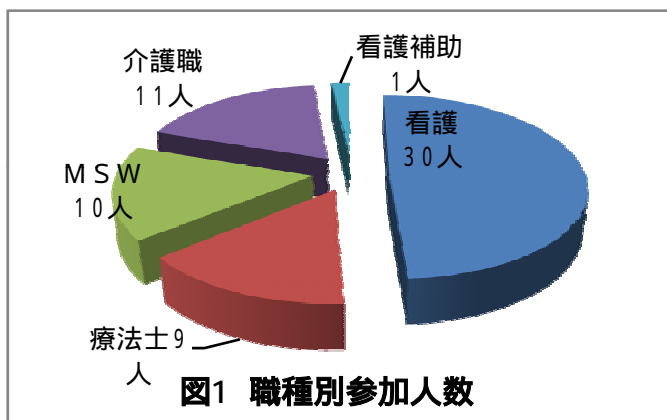
# 島原脳卒中地域連携施設研修会(3年間のまとめ)

現在までに、平成22年度1回、平成23年度2回、平成24年度2回研修会を実施。

## 1. 職種別の参加人数(図1)

	H22年度	H23年度	H24年度	合計
看護師	1	12	17	30
療法士	0	3	6	9
MSW	0	7	3	10
介護職	5	0	6	11
看護補助	0	1	0	1
合計	6	23	32	61

参加者を職種別にみると、看護師が一番多く約半数を占め、他は介護職・MSW・療法士の順であるが、大きな差はない。

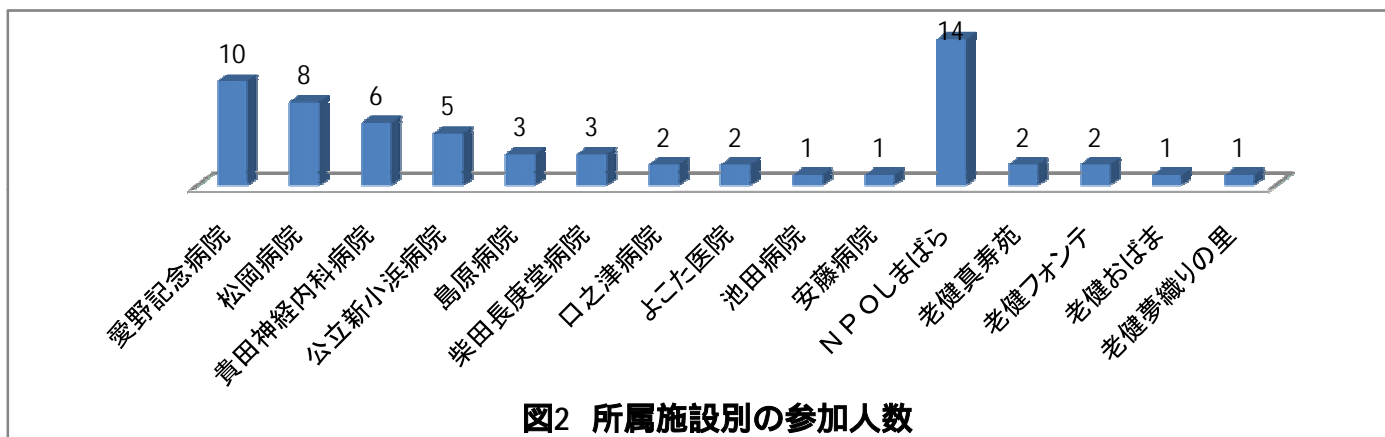


## 2. 参加者の所属する医療機関・介護保険施設別人数(図2)

	H22年度	H23年度	H24年度	合計
愛野記念病院	0	4	6	10
松岡病院	0	8	0	8
貴田神経内科病院	0	4	2	6
公立新小浜病院	0	4	1	5
島原病院	0	2	1	3
柴田長庚堂病院	0	1	2	3
口之津病院	0	0	2	2
よこた医院	0	0	2	2
池田病院	0	0	1	1
安藤病院	0	0	1	1
NPOしまばら	6	0	8	14
老健真寿苑	0	0	2	2
老健フォンテ	0	0	2	2
老健おばま	0	0	1	1
老健夢織りの里	0	0	1	1
合計	6	23	32	61

施設からの参加が少なかったため、平成24年度は積極的に呼びかけを行い、複数の介護施設が参加される結果となった。

すべての連携施設に参加の案内をしているが、今後も、参加されていない医療機関や施設には、積極的に声をかけ、全施設と情報共有や顔の見える関係ができるように連携して行きたい。

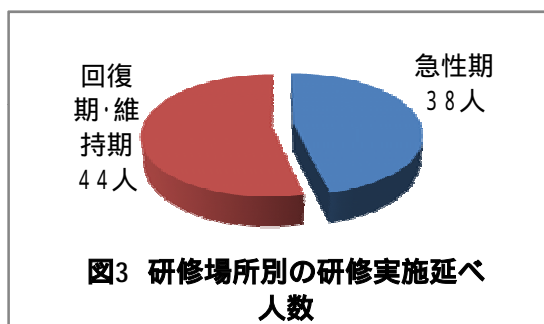


### 3. 研修場所(急性期・回復期・維持期)別の研修実施延べ人数

研修場所は、1日目急性期病院(当院)、2日目は回復期と維持期の病院・施設で行っている。研修は基本的には2日間の参加を呼び掛けているが、それぞれの目的に応じて1日目のみ・2日目のみなど多様な参加方法である。

参加者は、急性期と回復期・維持期のどちらの希望が多かったのかについて、延べ人数を出してみたが勤務の都合で人数を半分に分けての参加であったり、受け入れ人数の調整を行った現状もあり、平成24年度は2日目の回復期・維持期の希望が多かった。企画の目的は、「患者さんの全体像が見える」ための研修であったが通常は他施設の見学という研修はなかなか難しく、この機会に同じ機能の施設を見て学習したいという参加者が増加したのものとする。

	H22年度	H23年度	H24年度	合計
急性期	6	15	17	38
回復期・維持期	0	18	26	44
合計	6	33	43	82



### 4. まとめ

研修の目的は「脳卒中連携をしている中で、他の施設を研修することで、患者さんの回復過程の全体像が見える」としていたが、アンケート結果よりその目的は果たせたものと評価できる。

(アンケート結果: ホームページ、平成23年度及び平成24年度施設研修会の参加者アンケート参照)

研修を継続している中で、「同じ機能の施設を見て学習し、良い所は取り入れていきたい」との意見もあり、この研修が良い意味で活用されている結果となった。通常、他施設の見学や評価を受けるなどの機会はなくこの研修で、参加する側も研修を受け入れる側も、自分達の活動を振り返るよい機会となった。

アンケートでは、参加者全員が今後も継続してほしいと回答しており、脳卒中の患者さんを地域が連携して支援していく関係づくりのためにも、この研修会は継続していく必要がある。